

イエスは 主なり

日本クリスチャン・アシュラム連盟



# 日本アシュラム

アシュラムとはスタンレー・ジョーンズ師がインドの退修方式を取り入れて創始されたキリスト教の新しい祈禱運動である。

開心・静聴・充滿・献身・奉仕 117



## 祈り

島 隆三

「父よ、できることなら、この杯をわたしから過ぎ去らせてください。しかし、わたしの願いどおりではなく、御心のままに。」(マタイによる福音書26章39節)

主イエスのゲッセマネの祈りである。このはらわたを振り絞る祈りは、み父に応えられたのか。「わたしの願い」は応えられなかったが、「御心のままに」は成就した。主は心を注ぎ出して祈られ、御心を確信された。祈りの座から立ち上がって弟子たちに「立て、行こう。見よ、わたしを裏切る者が来た」というお言葉には一点のくもりもない。

使徒パウロは、彼の肉体に与えられた一つのとげ(サタンから送られた使い)を取ってくださるように必死で主に祈った。主の答えは「わたしの恵みはあなたに十分である。力は弱さの中でこそ十分に発揮されるのだ」であった(コリント第二、12:9)。

祈りについて考えるとき、いつも思い起こすのは、この二つの重い祈りである。願い通りにはならなかったが、この祈りの先に神の栄光が現れた。「主よ、あなたの御心を確信するまで祈り抜くあなたの僕としてください。」

(日本基督教団西川口教会牧師)

### アシュラム生活最良の友 アパ・ルーム

海老沢 宣道 編集

(年6回刊行の日々の糧)

国際的、超教派的、霊的な読物

価300円、〒90円、年2,340円(〒共)

申込先 ☎256-0812 小田原市国府津3-11

振替口座 00110-7-193834 アパ・ルーム

電話番号 0465-48-2010

日本語版は創刊以来47年続行中

スタンレー・ジョーンズ博士の遺言的大著

### 『震われない御国と 変わらない人格』

キリスト教二大原理の霊的解明  
澗江淳一・千代子共訳

宇宙と人生の究極目的を知りたい万人の書

・B6版・並製・504頁

・価2600円・送料310円

発行所・日本クリスチャン・アシュラム連盟

〒152-0001東京都目黒区中央町1-21-10



スタンレー  
ジョーンス  
コーナー

父・母の思い出(ユニスマシユーズ)

4

私はここで手短かに私の母が真に人間味溢れる人であったことをお話ししたいと思います。彼女は百歳で死ぬ時まで、非常に見識ある教育家であり、非常に働きのある宣教師であり、驚くべきカウンセラーでしたが、しかしそれ以上に真に信頼に値する人として高い評価を受けていました。彼女は非常によい賜物に恵まれ、探求心をもち、考え深く、均衡のとれた気質のもち主であり、統合的な人物で、しかも高潔でした。また彼女は女性として魅力的で、美貌の人として知られた時期があったのです。

彼女は女性解放運動がどんなことかを理解するのに困難を感じたことはありませんでした。しかし、彼女は女性解放運動に頼りませんでした。彼女はそれを必要としない、すべてに解放された独立自主の人でしたから。

彼女は自分ができると思ひ、した方がよいと感じたことを実行するの躊躇したことがありませんでした。彼女はする必要があると感じた限り、それを実行しました。

終りに、私の個人的覚え書きを閉じるに当たり、私の大きくなった年月に、一人の子供として見ていた間、私は両親が尋常一様でない人々であるという自覚を持っていませんでした。今思うと二人は尋常な人物でなかったことが分かります。二人とも真の人間らしい人々であったと確信しています。彼らは心から信じた目的に没頭していました。

私はまだ子供であった頃は親というものはこういうものだと思っていました。彼らは世間並の人々ではなかったことが分かってきました。彼らの両方が実に真の意味で人間らしい人々であったことを有難く思う様になりました。

どちらも自分の心から信じることに捕えられていました。二人とも自分の賜物を用いて、主を告げ知らせることにより主に仕えるために身を捧げていました。このようなジョーンズ夫人がいたことをお話ししておきたいと思ひます。彼女は一かどの人物でありました。(完)

(白川鄭二訳)

国際アシュラムの基本的原理

国際アシュラムの発行委員会は、今年4月の会合で、アシュラムの根本問題を話し合い、各地の指導者の参考となるいくつかの大切な点が挙げられたので、カナダの委員のারণ・バーンズ牧師がまとめて小冊子を作成した。詳細は本書を見る必要があるが、ここにその内容のポイントを紹介する。

I. クリスチャン・アシュラムの基本的原理

- ① イエスが中心におられること
- ② 交わり
- ③ 障壁の除去の重要性
- ④ 個人的な改革(新生)を強調する
- ⑤ 教会が重要であることを強調する
- ⑥ キリストの体における癒しが重要であること
- ⑦ キリスト者としての人格の成熟
- ⑧ 神の国のひな型になることに焦点をあわせること
- ⑨ 心、魂、および肉体における癒しの必要性

II. クリスチャン・アシュラムの主題

- ① 言(ことば)が肉体となった(ヨハネ1・14)。言が私たちの中で血肉となるようにする
- ② 現実としての神の国 日常生活の神の方法

- ③ 回心、キリストにある生
- ④ 自我の明け渡し、勝利への道
- ⑤ イエスが主であられること
- ⑥ イエスと癒しのみわざ
- ⑦ 聖霊
- ⑧ 行動する教会 神の国を私たちの生活と働きにおいて経験すること

- III. 助言者が避けるべき事柄
- ① 教派的偏見、即ち、他教派をさげすむこと
- ② 神学、あるいは、聖書に関する個人的嗜好
- ③ 個人的、あるいは、教派的性格の分裂要素
- ④ イエスの霊と調和しない全ての事項

IV. クリスチャン・アシュラムの標語

- ① イエスは主である。
- ② ここで、我らは交わりを持つ。時には違いを認めよう。しかし、常に、愛することに帰着し、仕える為に一致する。
- ③ 宗教は多くある。しかし、福音は唯一である。
- ④ 交わりは信頼を基礎とする。密かな批判はその信頼を壊す。従って我らは密かな批判を排除する。
- ⑤ ここに入る者は、全ての人種的、階級的差別を捨て去ろう。
- ⑥ ここでは、皆が皆を愛する。
- ⑦ 愛が対向できないことは何もない。

〈四十年の恵み〉

### 日本アシュラムの歩み(9)

海老澤宣道

スタンレーが八十七才で世界伝道のしめくりのように日本全国四十都市を巡回され、一五三回の集會を終え帰郷されて尚オクラホマ州アシュラムを指導中の一夜半に発病し、それから一年二ヶ月余の闘病生活を送られたが、遂に一九七三年一月二十五日に八十九才でインドから天に帰られたことは前号に述べた通りである。この第十回全国伝道の委員会は、博士が戦後に来日した第四回目から数ヶ所でアシュラムを開催され、その都度自分の来ない年もぜひ皆で協力してこの退修祈禱集會を守るように切望されていたことを思い、今回博士の奨励によって八地区に出来た委員会が相互に連絡を取る必要を感じ、地区代表八名と中央委員七名で連盟結成式を72年五月九日―十日東京に於て開催。博士の書いた『アシュラムとは何か』(海老沢訳)の小冊子を一同で熟読、長時間をかけて話合った結果「五大原則」を次の通り制定することができた。

- 一、キリストへの明渡しと服従。
- 二、御言への静聴と立証。
- 三、聖靈の導きと充満。
- 四、教会への奉仕と伝道。

五、神の国の体験と献身。静聴と深い祈りの後、規約の検討、

予算、役員を選挙。全国的連携、世界連合との連絡などに努力することを感じのいのりと共に申合せて閉會した。

◆最初の役員と理事は次の通り。

- (理事長) 高瀬恒徳、(副) 中路崎雄、(総務) 海老沢宣道、(書記) 大石嗣郎、横山義孝、(会計) 鈴木萱沼、(常任) 山根、池本、(道南) 白川、(東北) 村上、(関東) 横山、(中部) 原田、(関西) 中路、(中国) 谷本、(四国) 宇都宮、(九州) 山本、以上十五名。早速第二回理事會を網代のロッジなるけで開く予定。
- ◆各地区の委員は全員を紹介することを省略するが、(道南)には植村増井の両氏他三名。(東北)には大住、高橋、吉池師の他七名。(関東)には満丸、岡田、洲江師の他十名。(中部)には松原、内村、毛戸師の他五名。(関西)には辻中、中島、後宮、金師の他十名。(広島)には植竹、長島師の他十名。(四国)には黒田、伊藤、榎本、河野師の他十名。(九州)には鍋倉、平野、末永師の他五名。以上の各地区委員会によって、その年度からのアシュラムの開催計画が着々と進められたことは感謝に耐えない。引続いて全国的に五大原則を黙想してそれを生活の中で実践されることが願われている。



### 信仰生活43年の私の証し

第35回関東アシュラム

「福音の時より」―5―

斎藤 剛毅

〔第一一五号よりの続き〕

百数十名の方が出席しておられましたが、そこには聖霊が万堂に満つるという言葉が当たっている位に本堂に霊感が溢れ、聖霊が満ち満ちたという感じの集會でした。

第一日目の夜、二月七日のことですが、スタンレー・ジョーンズ師がこのようにおっしゃったのです。「自分の全てを神に捧げよ。汚い自分

であっても、み手に委ねよ。丁度、手術の時に医者に自分の体を委ねるように、自分を委ねざる時に、自分の悪い所、罪深いものが除かれて行くのだ。だから、たとえ自分が罪深い者と悩んでいても、自分を神さまのみ手に委ねなされ。完全に自分を委ね、献げる時に神さまはあなたの自己中心を清めて、あなたに返して下さる。だから自分の汚い自我を神のみ手に委ねて、清めて頂いて、そして返して頂くのだ。」「神さまに自分を献げるなら、神の聖霊はあなたの潜在意識にまで働いて、あなたは新たにされる。兄エサウを裏切ったヤコブがハランから故郷に帰って来たとき、ヤボクの渡しで、徹夜して神の使いと相撲を取った。たとえ兄をだまし、欺き、出し抜き、親の財産を奪い取ったような貪欲なヤコブであっても、本堂に神さまに粘り強く祈った時、彼は貪欲から清められて神さまの恵みに与かったのだ。そしてヤコブという名からイスラエル――祈って、祈って神さまに勝ったと言ふ名のイスラエル――という名を新しく与えられた。だから神さまの前に粘り強く祈って自分を献げなさい」と言われました。この時のスタンレー・ジョーンズ師のお言葉、私が深い罪意識の中にあって、自分は本堂に罪のある、汚れた人間であるという思いであったのが、本

当に自分を神に献げるなら、神さまは本当に清めて下さるといふ師の言葉に私は動かされ、引き付けられたのです。

私はここに四三年前の日記を持っています。それを、七人男兄弟の中の五番目ですから、七五郎日記と名付けていました。その中にこう記しています。「私は今、振り返って、よく来てしまったと思う。普通では考えられないようなことをしている。入試が三月に迫っている。最後の仕上げに、一寸の暇もない時である。今、皆、真剣に勉強している。それなのに、私はこの天城山荘に来て、聖書研究と祈りに大部分の時を費やしている。しかし、私はここに来なければならなかったのである。神の力強い愛の綱に引き寄せられて来たのである」。そこに私は不思議なことを書いています。それは聖霊が満ち満ちている集会であったからでしょう。

「私が救われた時は、十字架上の絵画的キリスト・イエスの姿を見たが、今度はその主イエスの御父を見たのである。自己を一切献げ切っている人々の中で神を見たのである。嬉しい。私は新たな力を得て帰ることが出来る」と書いています。この「神を見る」ということは、今振り返って見ると、聖霊による神の臨在を感じたということを書いているの

だと思えます。主イエスが本当に死から甦って弟子たちに、聖霊が降るまでエルサレムで待てという命令をされましたが、弟子たちはペンテコステの日に聖霊を受けます。海老沢先生が「画期的な出来事」と書かれたのは、ある意味では「神さまの聖なる臨在がありありと皆に感じられた」という体験が起きたことを表現しているのだと思えます。

第三日の夜、スタンレー先生はウイリアム・ケリーの「神のために大いなる計画を立て、そして大いなることを期待せよ」という言葉を引用されました。「イエスは主である」という言葉を中心にお話をされたのですが、この時、「平凡な人間でも非凡なことをなし得る。それは大いなることを神さまに期待するからである」という言葉で語られました。先生は、「自分はいつも時を定めて祈る。その時、いつも自分は普通の常識ではできないことを思っている。それは神さまのみ旨にすがっているからだ。平信徒であっても、伝道のために立ち上がらなければならぬ。神さまのみ心は救霊、伝道にある。神の救霊、伝道に参加せよ」と仰った。その言葉を私の座っている方向に向けて「神のために立ち上がれ」と、その指先が私の方に向いている。「ああ、えらいことになった。何故私の方を指すのだろうか」と思い

ました。何も私の名を先生がご存知のはずはないのに、とその指先が大変気になりました。たまたま、祈りのグループにおられた教団の牧師にスタンレー・ジョーンズ師の指先が大変気になりますと話しました。「伝道者として立ち上がれと私に仰ったような気がしますが、何か意味があるのでしょうか」。さすがに牧師さんですね。「うん、あるよ。スタンレー・ジョーンズ博士を通して神さまが君に伝道者として立ち上がれと仰ったんだ」と言われました。

私は困りました。私は神さまに祈っていましたが、「神さま、どんなご用でもいたしますが、牧師だけは成りたくありません」。私は松村牧師の苦勞を知っていました。あの頃はカーキ色の服を着て、自転車に乗ってご夫婦で訪問伝道をしていらして、牧師というのは、こんなに経済的に貧しくて、苦勞しておられるんだなあ、と思っていましたから、牧師にはやはりならない方がよいと思っていたのです。その他のことならどんなことでもしますと祈っていたのですが、この牧師は「指先をあなたに向けられて、スタンレー先生はあなたが伝道者になることを求められている」と言われたのです。私は相談しなければよかったです。その指先相談したためにますます、その指先の意味が確定的なものに思われてき

ました。私は最後のプログラムの時間(今の充滿の時です。第一回では「感想会」となっていました)、この時にどういふ決心をしたか、これも四三年前の日記で書いています。

「周囲の者は次々にアシラムで得た恵みを述べて行く。私はわななく手をどうしても挙げられない。私の心には血みどろの闘争が展開していた。この感想会で『私は伝道者になります』と決意を表明せよと迫るものが神のみ声なのである。『あなたの一切を捨て、私にすべてを献げる心があるならば、へ我伝道者にならん』と言え」と書いています。「私は伝道者の苦しみを知っている。その多難な道を知っている者である。その献身表明がどんな重要な意味をもつものかを知っている。おののいた。ガタガタと震える手を確りと握り合わせて祈った。真剣に祈った。

無我夢中で、ただ一切を献げさせて下さいと必死の叫びが胸の奥からほとばしり出た。私は手を高く挙げる。とスタンレー先生から促されて立ち上がった。そして言った、『私は伝道者になる決心をいたしました』。私は思わず泣いてしまった。何故であらう。それは絶対服従を拒む自我の泣き声であった。「自己中心的に生涯を決定し生きようとした自我は汗と熱と共に対外に逃げ去ってしまった。『どうか私のために祈って

ください」と言いながら座った。私は訪れた何とも言えない平安、涙が止まらないながらも、すっとした気持ち、私はあんな経験をした事がなかった。私には祈りの心が与えられた」と書いています。

この四三年前の出来事、第一回目の全国アシュラムに参加して私は献身の決意を与えられたわけなのです。私は外交官になりたいという強い願いを持っていて、日本政府から(外国に)派遣されて、その国の民と交流を図り、文化的、政治的、経済的な交流の役割をするということは私の夢でありましたけれども、私は神様に召し出されて、神様のメッセージを携えて人々に神様の心をつたえるメッセージ、大使として遣わされるという、人生計画の転換が起きたのです。イエス・キリストの福音のメッセージを携えて人々に出ていく、そしてそのために自分の生涯を捧げるという方向に私は変えられました。

それから私のがむしやりに大学受験の勉強をしたのですが、やはり神様は公平ですね。受験前に天城山荘などに行っておまり勉強しないものは、簡単に受験に受かるはずがありません。見事、浪人しました。浪人して、また私のがむしやりに勉強したのですが、運動不足の解消のために町道場に出かけていきました。運

動不足の解消に努めたのですが、睡眠不足も重なって、私はいつの間にか顔が青くなってきまして、レントゲンを撮ってみますと肺浸潤、即ち結核に冒されていることが分かったのです。「神様、生涯を捧げる決心をして、浪人して神様の良しとされる大学を目指して頑張ろうと始めているのに、なぜ私は結核になるのですか」と祈りましたが、その答えは「ずっと後になって示されることになりました」。

結局(病気のために)半年近く勉強から離れなければならなかったのですが、療養生活を終えて(国立の法学部の)八科目の受験科目ではなく三科目の受験可能な私大を目指して受験して、幸い東京の国際基督教大学の第四期生として入ったのです。スイスのエミール・ブルンナー先生などがいらした創設期の大学でしたが、「神の痛みの神学」をお書きになった北森嘉蔵先生などが講義をしておられ、私の恩師となりました無教会の高橋三郎先生とも出会いました。ドイツから帰ったばかりの新進気鋭の学者で、実に深い聖書研究に魅せられました。古屋安雄先生はチャブレンになられてから自由闊達に伸び伸びと素晴らしい信仰で学生を導いて下さり、そういう四年間を過ごしました。

私はその時から将来牧師になるに

は伴侶がとても大切と牧師に言われていましたので、大学に入ってから本当に祈り始めました。今思うと不思議なのですが、出会いというものを導かれるのに、ちゃんと摂理的な用意があるのです。私が中学生の時から私の家の前の女の子が「乙女の祈り」を練習し始めたのです。ところがどういうわけか、その女の子は私が高校三年生になっても「乙女の祈り」を完成しなかったのです。「乙女の祈り」は皆さんよくご存知だと思います。私は六年間毎日のように聞かされたその「乙女の祈り」の最後の部分を聞きたいという強い思いに囚われたのです。どういうわけか将来私が結婚する相手は「乙女の祈り」を最後まで弾けるような女性であってほしいということが頭に入ってしまったのです。良く考えようと不思議なことです。一番上の兄は私に良く言いました。「剛毅、私は人生の妻の選びに失敗した」と言うのです。「どうしてですか、兄さん」

「料理が下手なんだ。一生の不作だよ」などと言うのです。「いいか、剛毅、本当に料理の上手な奥さんを選べよ」と言うのですね。私は信仰の問題とか人格の問題よりも「乙女の祈り」を最後まで弾けるとか、料理が上手とかが結婚の条件として頭に入れたのです。私はたいへん字が下手なんです。母は達筆なので

ですが、父はあまり字が上手でなかったもので、私は父の遺伝を受けてしまつて字が上手でないものですからワープロができた時はうれしかったですね。本当に綺麗な字になって印刷されるのがうれしかったです。私は字の上手な女生と結婚したいと思いました。

それで四年間祈ったのです。もちろん信仰のことも祈るわけですが、大学を卒業して西南学院大学の神学部の三年生に編入しました。福岡バプテスト教会に行きますとオーエン先生が西南大学の英文学の先生として教えながら福岡教会でバイブルクラスをしておられました。私は東京の常盤台教会でバイブルクラスで通訳をしていましたので、先生が「斎藤さん、又、東京の延長で私の通訳をして下さい」というものですから「はい、お手伝いします」と引き受けました。そして最初の日曜日に教会に行きましたら、先生はある女性を紹介して下さいました。その女性を紹介された時、お辞儀するだけでお互いに何ら一目惚れということもなく、その女性は神学生とだけは結婚するまいと思っていた女性でした。私は、妻は慎重に選べと言われていましたから、この三つの条件に合った人に出会わなければ、そう簡単に笑顔を向けたいと思ってい

編集人 有馬 敏弘  
定価 一部60円 千80円

でした。

ところがオーエン先生が、その女生と私が結婚するように祈り始めたのです。宣教師の祈りは怖いですね。真剣に祈り始めたのでキューピットがハートに矢を射ったとしか思えないのですが、私は青年会の交わりでピクニックに行きました時に前もって数人の女性一人一人にお願いしたのです。「今度のピクニックに僕のために美味しいおかずを少し作って、そっと僕に食べさせてくれ」と。オーエン先生に紹介された女性にもちやんとお願いしました。ピクニックにまいりまして「斎藤さん作っていただきましたよ」というので賞味させていただきました。その女性のが一番美味しかったです。あー一つの条件が適ったと思いました。

この女性は教会の付属幼稚園の先生をしております。ピアノが弾けるということが分かっていたので、ある時——どういわけか神様がそういう時を作ってくださいだったので、すね——私は「聞き難いことをお聞きしますが『乙女の祈り』を『存知ですか』と聞いたのです。「はい、良く知っています」「じゃ、弾いて下さいませるか」「はい、弾きます」といので私は少し胸が高鳴ってききました。私は一度、大学である友人に「乙女の祈り」を弾いて下さいとお願ひしたら、その女性は「はい」

と言ってから途中で「あっ、忘れた」と弾けなかったことがありました。それでがっかりしたことがありますので、またそういう目に会うのではないかと、今度はあまり期待しないで聞こうと思ひました。「乙女の祈り」が弾き始められました。そうしましただら途中で終わらなかつたのです。段々終わりに向かつて行つたのです。最後に私の聞いていなかつた部分が奏し始められて、最後に「ジャー」と終わつた時、私は本当に感動しました。「あー、私の夢が叶つた」。でも大変なことになってきたと思ひました。二つの条件が適つたのですから。神様に祈つていた四年間の祈りは、この人において実現するのかなと思つたわけです。

でももう一つありました。字が上手かどうかはつきり確かめようと思ひました。私はある時、手紙を書いてくれないかとお願ひして、手紙が来たのです。綺麗な字だったので、その女性のお父さんは大変字が上手で、郵便局の局長さんから郵便の宛名書きのモデルとして展示しておきたいと頼まれたほどの達筆な字を書いたお父さんであつたのです。問題は三つの条件だけではありません。やはり献身、将来私と伝道の苦勞を重ねるといふ献身の決意をしてくれなくてはいけないわけです。その女性は神学生とだけは恋愛しないと

堅く心に決意していた女性です。これはどういう風にして攻略すべきか。そこでスタンレー・ジョーンズ先生から「粘り強く折れ」という知恵をいただいていますし、母に「困難に直面した時に、困難を克服する知恵と力を与えてくれるように祈るのよ」と教えられておりますので知恵を求めたのです。やはり「求めよ、さらば与えられん」、本当ですね。私はキエルケゴールの「死に至る病」を大学で酒井修先生という哲学の先生から勉強してました。こういう事が書いてあります。「女性の献身は必ずしも単独献身でなくてよい。女性の献身は献身した男性、夫に仕えて助けるということを通して間接的であるけれども神様に献身することになる。それでも立派な献身である」という内容が書いてあります。これを使えばよいと思ひました。私は「キエルケゴールの『死に至る病』」のなかにこういう女性の献身という説明があるんですよ。必ずしもあなた自身が献身の決意がなくとも献身した人に生涯を共にして助けるという方法の献身もあるんですよ」と言つたのです。そしたら変な顔をして聞いていました。何か自分に求婚しているような、この人は何でそんなことを、神学生と結婚しないと思っているのに、そんなことを言うのだから、あたかも自分があなたを好き

になつて、というような先人観をこの人は持っているんだらうかと思つたらしいのです。

でも神様が働かれる時には働かれるわけですし、また私はその女性の観察日記を書くことにしたので。日曜日に出会うことに話したこと、性格描写とか、いかにあなたを注意深く見守つてきたかということを書いて、最後にあなたは私の妻になる人だと思つたという言葉を添えてクリスマスにプレゼントしたので。その女性は大変びっくりして、これほどまでに私のことを考えて観察して私の妻になると確信をもつて言う自信家に初めて出会つた。それで私の言わば求婚ですけど、プロポーズを受ける決心をしてくれたのです。それが今の妻なんです。そのようなことで神様は一人の女性を祈りに応えて与えて下さつたわけなのです。

ところが皆さん、結婚などというものは思う通りにいくものではありません。私は八人兄弟で、母は子供を育てるのになかなか、きちっとしつけをしました。私のころの歯磨きチューブは亜鉛でできていて、下から巻き上げて、みんなが使いやすいようにちゃんと下からきちんと巻き上げて歯磨きチューブは使うのよと訓練されるわけです。ですから私たちが兄弟は、下からきちんと巻き上げてきれいに使う訓練を受けてい

ます。私の妻は六人兄弟なんです、彼女の母はまったく自由奔放、そういうことはあまりこだわらない。ですから自由に押し使って育て方です。私は結婚してしばらくして、えらいことに気づいたのです。自分の使っている歯磨きチューブがいつの間にかデコボコと変な形をし始めたからです。犯人は妻しかいないわけですから。こまったなあ、こういう妻だったらこまるなあ。長い間祈り求めて、やっと真剣勝負で得た妻が歯磨きチューブをデコボコにする妻と結婚するようになってしまったと思っただけで、何とかならないかと言ったのです。「もしあなたが私を愛しているなら小さな愛の努力でいいから下からちゃんと巻き上げてくれる努力をして欲しい」。これに対して妻は「あなたが私を愛してくれるなら自由に与えて欲しい。歯磨きチューブの中心は同じでしょう。どこを押しても出てくる中身は同じでしょ。デコボコも見方によっては造形美、これは人間にしか作れない独特の形の造形美でしょ」と言いました。こういう言い方があるとは私は知りませんでした。まったく度肝を抜かされて本当にびっくりしました。私は神様の前で言わなくてもいい小言を言う人間になつたのです。歯磨きチューブ一本で小言を言う人間になるとは悲しいですね。神様に「何とかかなりま

せんか」、この小言は牧師として恥ずかしいですから、こんなつまらないことで一々妻になんとかならんかと言いつけるような情けない男でありたくないと思つて、「神様こんな小言を言う自分を発見しまして悲しいです」と祈りましたら、祈りは聞かれました。科学の発達によって今はラミネートチューブ、これはありがたいですね。ツルツルです。デコボコにならないですね。巻き上げる必要もないですね。それで多少デコボコになってもすつとやれば消えてしましますね。あれで私は一切小言を言わなくなりました。

こんな体験もあります。私は電話でメモを書きますと妻はその電話のメモを黒丸で炭団のように丸く一字一字消していく癖があるということが分かりました。気がついた時には私の大切なメモ帳は全然何を書いたのか分からない状態となつている。まあ、それは私が注意してしまつておくと良いわけですから悩まなくて済むわけですからね。

松村牧師の奥様はあき子夫人とおっしゃいますが、なかなかの才媛なんです。英語が堪能で神学校に行つた方ですからギリシア語が読めるんです。いつも聖書註解の原書を三冊ほどひもどきギリシア語原典で聖書を読み、聖書研究をして朝祈られるという方です。それで「斎藤剛

ちゃん、私の聖書研究はこういう聖書研究よ」などとおっしゃるものから、妻たるものはこのくらい勉強をするのだとおもっちゃうのです。私は牧師夫人は一人しか知りませんが、結婚して妻に「時には原書を開いてギリシア語を勉強する気はないか」などと無理な注文をつけたりしてね。私は家内を苦しめたものです。ある種の理想的な型に押し込めようとしたわけです。後にアメリカに留学しました時に驚きました。私が一番最初に出席した教会の牧師夫人は最前列から三番目の一番端と決まっています。そして毎日曜日、帽子が変わるのです。こうなると五二個の帽子を持つているのではないかと思うくらい本当にフランス人形のように美しく着飾つて、礼拝が終わりますと、にこやかに握手をして別れるという牧師夫人でした。その次に行きました教会の牧師夫人は非常に地味な服装で、いつも頭をぐつと結び、病院を鳥のように飛んで歩いて訪問しているような牧師夫人がおりました。そしてあの方には美容師をしている方もおりました。学校の先生をしている方もおりました。そういう牧師夫人を見ました時に、あっ、そうか、これでいいんだと思つたのです。いつも妻は「私は私、あき子夫人ではありません」と言つてポンと私を跳ね返してきた。

「私はあき子夫人ではありませんよ、あなたはあき子夫人と結婚したんじゃないよ」とそういうところは私にきつと反応するのですが、でも私はそれでも頑固なところがありまして、いつまでも形にはめようとしたのです。アメリカに行って私のそのような先入観が砕かれました。私の牧師夫人像ではなくて、ありのままの姿で主に仕えていく、そういう姿でよいということが分かり、私はそこで解放された思いをもつことができました。私は明石に開拓伝道に出かけてたいへん苦労したのであります。その時に神様の大きな恵みにより三六五坪ほどの土地と二〇〇万円の会堂、二二〇万円の牧師館の建築献金をいただきまして会堂を建てることになつたのですが、所詮、建築には素人なものですから私はフリーメソジスト教会の内貴八郎右衛門先生という大変温かい先生をお訪ねし、その先生のもとで代表執事をしておられる宮氏さんという県の住宅公社の理事で、優れた信仰の持ち主を紹介されて訪ねて行きました。会堂建築資金二〇〇万円と牧師館二二〇万円という金額を聞いたら、宮氏さんは腕組みをはじめまして「困つたなあ」「どうしましたか」「一級設計士に頼むと設計料が取られるし監督料もまた取られるし、いよいよマッチ箱の

ような教会になってしまいうから困ったなあ」とおっしゃったんですが、しばらく考えて「私がやります」と言って全部自分で設計図を引いて下さったのです。しかも無料奉仕です。また監督をされました。県の何億円という仕事をしておられる方ですが、家に帰って設計図を引き建築が始まりますと監督をされる。その請け負った監督さんはカトリック信徒の社長さんでした。宮氏さんが設計監督料を奉仕として捧げるのなら私も捧げますと五〇万円ほど——今でいうならたいへんな金額ですが——を捧げて下さって立派な会堂・牧師館が建ったのです。

第36回 関東アシュラム報告

イエスは主である。

アシュラム開催当日は、会場の山崎製パン箱根山荘地域は、大雨警報が出ていたので、開催できることを祈りつつ、参加した。

助言者は東京新生教会の横山義孝牧師。横山氏は関東アシュラムが開始以来、アシュラム運動に熱心に活動された会員であった。同氏はエフエソ書より『心の深みまで新たにされて』と題して「イエス・キリストの内住」。クリスチャンの聖化、成熟を助言された。長い伝道、牧会生活の経験から主の豊かな導きと溢れ

る主の恵みを分かれた。今なお益々信仰とヴィジョンの旺盛なスピリットには多大な慰めと励ましであった。思うことは、賜物は各々多機能弁で心が揺り動かされる助言。また静寂な内に心の底まで浸透される助言。それぞれの賜物の表現である。多様な表現の分かち合い聖霊の働きの顕著な助言や司会であったことを覚えて感謝であった。

熱心に待ち望みつつ信仰をもって参加された坂井さん(86) 榎会幸さん(96) 大きな喜びをもって参加し立証された榎会さんの、明解、明晰な証しは、参加者一同に大きな恵みが分かち与えられた。「アシュラムのお母さん」とある姉妹は呼んだ。



第36回 関東アシュラム 於・山崎製パン箱根山荘 1998.9.22~24

ファミリー・アワーにおいて、新しく委員長・有馬歳弘氏、書記・島津吉成氏が選任された。又、第37回関東アシュラムは99年9月22日〜24日に山崎製パン箱根山荘で開催の予定。再会を待望しながら下山した。愛禱を感謝。シャローム (記・木部安来)

第33回 九州アシュラム報告

九州アシュラムも回を重ね、33回目となりました。9月23〜24日の両日、福岡黙想の家で開かれました。求道中の方や新しい参加者も加えられ37名の集会となりました。台風が近づき天候が心配されましたが、全員無事に黙想の家に着きました。

助言者として名管理事の海老沢宣道先生と須磨夫人をお迎えしました。先生は九州では5回目の助言者としてのご奉仕でした。九十歳とは思えない力強いことばの説きあかしをしてくださいました。

須磨夫人もお証しをしてくださいました。先生のおき伴侶としての働きや信仰の継承の大切さとすばらしさをお聞きし、たいへん感銘を受けました。先生も夫人のお証しを初めて聞かれたとのことでした。

また、中村和夫先生(元西南学院大学神学部教授)には、深い聖書研究と学びに裏打ちされたことばの

説きあかしをしてくださいました。今回は黙想の家というアシュラムにはふさわしい場所が与えられて感謝でした。

来年も同じ場所、理事長の大石嗣郎先生を助言者としてお迎えし、11月23〜24日に行います。

次回の再会を約束してそれぞれの地へと帰ってまいります。(記・岡山敦彦)



◆海老沢宣道名管理事はこの度国際アシュラム連合の名誉(終身)理事に選任されました。おめでとうございます。